



御幸が原小・学校だより

考える葦

第6号

令和4年10月31日発行

発行者 廻谷 敦士

校庭の桜の木も紅葉から落葉へと移り変わり、朝夕の肌寒さに秋の深まりが感じられるようになってきました。10月は1年の折り返し点。7日（金）の第1学期終業式後、5日間の短い秋休み。そして、13日（木）から令和4年度第2学期がスタートしました。新型コロナウイルス感染症第7波の収束も下げ止まりの状況が見られ、新規感染者数も少ない時は100人台、多い時には600人台と増減を繰り返している状況のなか、子供たちは元気に学校生活を送っています。

秋と言えば「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」……。6日（木）の「演劇鑑賞会」では、感動に心を揺さぶられる時間を過ごしました。また、22日（土）の運動会では、子供たちのすばらしい活躍が見られました。11月には、「読書月間」としての様々なイベントや6年生にとって1番の思い出となる修学旅行、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間実施されなかった「市陸上競技大会」など、多くの行事が予定されています。子供たちにとって有意義な「実りの秋」となるよう、児童・職員一丸となって、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします

第1学期終業式

児童作文発表

宮っ子心の教育表彰



第2学期始業式
児童作文発表

10月の校舎



秋の空
「うろこ雲」



学問の秋

5年 日光校外学習

9月29日（木）に、5年生が日光校外学習を実施しました。この活動は、総合的な学習の一環として、栃木県を代表する文化遺産や自然について自ら課題を設定し、実際の見学等を通して解決を図る学習活動です。来年の修学旅行につながるこの活動を通して、高学年としての自覚も高まりました。



芸術の秋

演劇鑑賞会

6日（木）、劇団民話芸術座の皆さんによる演劇「雨降り小僧」を鑑賞しました。これは、日本を代表するマンガ家である手塚治虫さん作の、主人公モウ太と妖怪雨降り小僧の友情・約束・絆を描いた演劇で、児童にとっても、とても心が温まる時間となりました。



スポーツの秋

10月22日(土) 運動会 ～全力で 踊れ 楽しみ みはらっ子～

当日は天気予報に反しての曇り空で少し肌寒い半日となりましたが、子供たちは、約1か月の練習の成果を存分に発揮し、すばらしい演技を披露してくれました。係としての5・6年生の責任感ある機敏な動きも印象的でした。結果は、赤組の優勝となりましたが、全力を出し切った子供たちの表情は、とても満足そうでした。保護者の皆様には、コロナ禍の制限に対するご理解ご協力、PTA活動としてのお手伝い等、大変お世話になりました。



食欲の秋

おにぎりの日

宇都宮市では、「食事について親子で共に考える機会を創出し、子供たちの食への関心を高め、感謝の心を育む」ことねらいとして、年2回のお弁当の日を実施しています。その1回目となる「おにぎりの日」を**20日(木)**に実施しました。子供たちは、自分で作ったおにぎりを美味しそうにほおばっていました。



スポーツの秋

とちぎ国体観戦

7日(金)、4・5・6年生がいちご一会とちぎ国体を観戦しました。雨が降る中、子供たちは、各県を代表するアスリートの戦いを食い入るように見つめ、特に、10秒台の戦いとなった100m決勝は、その迫力に圧倒されていました。



就学時健康診断

27日(木)、令和5年度に向けての最初の行事となる就学時健診が実施されました。就学時健診では、来年度6年生として1年生を迎える5年生が、会場準備、当日の係を務めました。運動会という大きな行事を成功に導いた5・6年生。今後6年生が卒業に向けて本格的に動き始めるにあたり、最高学年というバトンが、6年生から5年生に受け継がれていきます。



下記のQRコードを読み取ると、御幸が原小学校のホームページにつながります。学校だよりカラー版や紙面で紹介できなかった様々な活動の様子がご覧いただけますので、ぜひ、アクセスしてみてください。

